

9

科学技術のスペシャリストを 育成する環境づくり

ものづくりや実験、実習を通して
創造力、課題解決能力、人間力を育む

静岡県立科学技術高等学校

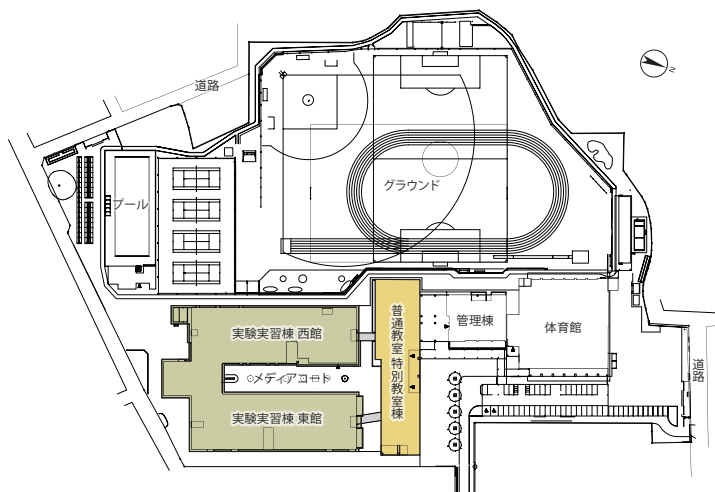
学科等/専門学科(工業科・理数科) クラス数・生徒数/全日制27クラス、定時制4クラス・全日制1,070人、定時制87人 建築主/静岡県
所在地/静岡県静岡市葵区長沼500-1 工事種別/新築 敷地面積/55,010㎡ 延床面積/27,971㎡ 竣工/2008年1月

計画・整備のねらい

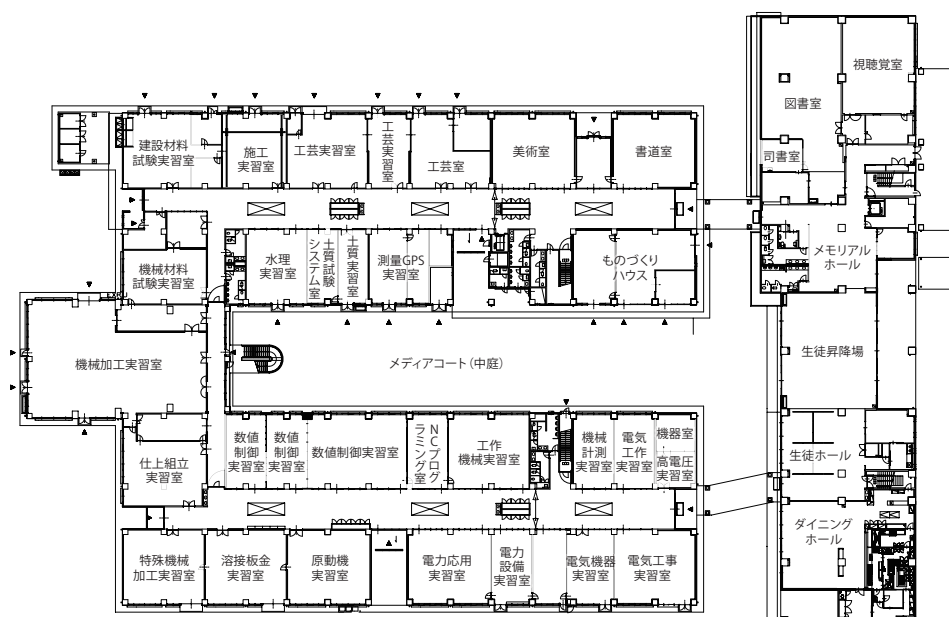
- 質・量ともに充実させた実験・実習室群
- 豊かな感性と知性を育む交流・リフレッシュ空間の確保



グラウンドからの全景



配置図。建物は教室棟、管理棟、実験実習棟、体育館の4つのゾーンに分かれており、屋内外の渡り廊下で結ばれ、雨に濡れずに行き来できる。



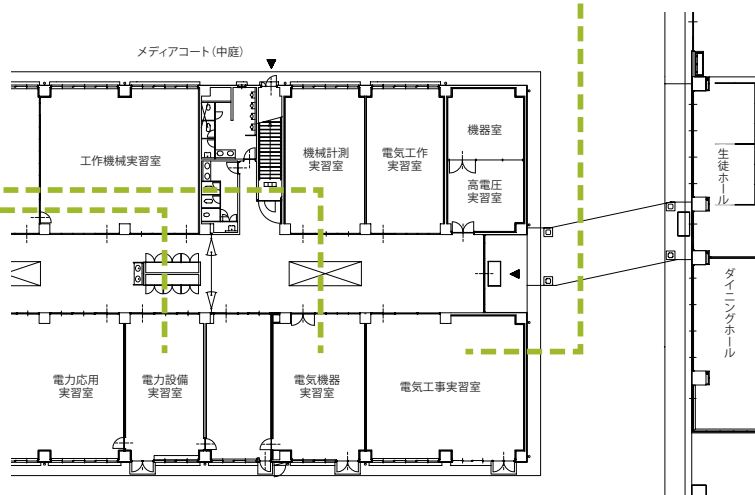
1階平面図。開放諸室(図書室、視聴覚室、ものづくりハウス等)はすべて利用しやすい1階に配置。回遊性のある行き止まりのない通路としている。

■施設整備の工夫点

○機能的な実習室と合理的な施設配置



1階電気機器実習室（左上）、電気工事实習室（右上）、電力設備実習室（左）。分野毎にゾーニングされており、系統のかつ実践的な学習を支えている。



○実習室と連続した中庭（メディアコート）・交流空間



1階生徒ホール。ダイニングホールに隣接。生徒会活動やグループ学習、憩いの場として幅広い用途に活用。



実習室から直接出てリフレッシュできるメディアコート（中庭）。

■教育効果のポイント

- 実験実習室の機能的連携を考慮した配置により、無駄な移動が少なく、授業に集中できる。
- 実験実習棟の1階の各部屋には広い搬入口があり、機材の搬出入が容易なため、授業準備を速やかに行える。
- 実験実習棟の充実した施設設備により、ものづくりへの意欲が高まる。